

## 土屋復興大臣の動き

## 9月21日 宮城県知事表敬訪問



宮城県知事表敬



村井知事から要望書が手交

9月21日、土屋品子復興大臣は高木宏壽副大臣とともに、村井嘉浩知事を表敬訪問しました。知事から要望書が手交された後、意見交換を行い「現場主義を徹底し、被災者に寄り添いながら残された課題に取り組む決意」をお伝えすると共に、「女性の視点を活かしながら、積極的に被災地に赴き復興の課題を洗い出す」と今後の意気込みを語りました。

## 10月4日 石巻市・南三陸町・気仙沼市 訪問・視察

10月4日、土屋品子復興大臣は高木宏壽副大臣とともに宮城県沿岸被災地3市町を訪問・視察しました。石巻市では宮城復興局にて職員に向けて訓示を行い、「風評被害は一番大きな問題。徹底的に困っている人に寄り添い、復興庁全体として取り組んでほしい。」と激励しました。その後、石巻南浜津波復興祈念公園祈りの場にて献花・黙とうの後、みやぎ東日本大震災津波伝承館にて伝承館の目的や設立の経緯について説明を受けました。

南三陸町では南三陸さんさん商店街で、復興に携わり現地で農業・観光・福祉の分野で活躍する女性事業者の3名などと三陸ものを食べながら、被災地の状況や課題等について意見交換を行いました。会食後、佐藤仁町長の案内で南三陸町震災復興祈念公園「祈りの丘」にて献花・黙とうの後、南三陸311メモリアルにて、館内の説明を受けながら視察し、展望階より南三陸町沿岸部の復興状況を視察しました。

気仙沼市では、気仙沼市復興祈念公園モニュメント「祈りの帆」にて献花・黙とうの後、菅原茂市長より復興状況等の説明を受けました。また、「気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ」では、市長から要望書の手交を受け、意見交換を行いました。その後の会見で、「被災者の心のケアは1年、2年で終わらない。被災地の移住も後押ししたい。」と述べました。



宮城復興局にて（訓示）



石巻南浜津波復興祈念公園にて



みやぎ東日本大震災津波伝承館にて



南三陸さんさん商店街にて



南三陸町復興祈念公園「祈りの丘」にて



気仙沼市復興祈念公園にて



気仙沼市復興祈念公園「祈りの帆」にて



気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザにて

高木復興副大臣の動き

10月18日 名取市・東松島市・石巻市 訪問・視察

10月18日、高木宏壽復興副大臣は名取市震災メモリアル公園を訪問し、慰霊碑前にて献花・黙とうの後、日和山にて山田司郎市長から復興の状況等について説明を受けました。

東松島市では小山修副市長の案内で東松島市震災復興慰霊碑前にて献花・黙とうの後、被災したJR仙石線旧野蒜駅を活用した東松島市震災復興伝承館や移転元地の活用状況等を視察しました。

東松島市の視察終了後、宮城復興局にて宮城県市長会会長の伊藤康志大崎市長より東日本大震災からの復旧・復興に関する要望書の手交を受け、出席した各市長からの個別要望について意見交換を行いました。



名取市震災メモリアル公園にて



日和山（名取市）にて



東松島市震災復興慰霊碑にて



東松島市震災復興伝承館にて



市長会要望（宮城復興局）にて



市長会要望（宮城復興局）にて

## 11月9・10日 仙台市・岩沼市・石巻市・松島町・塩竈市・山元町・ 亘理町・利府町・多賀城市 訪問・視察

11月9日・10日、高木宏壽復興副大臣は宮城県内の5市・4町を訪問しました。仙台市役所に郡和子市長を表敬訪問し、復興の状況等について意見交換を行いました。岩沼市では千年希望の丘相野釜公園にて献花・黙とうの後、鈴木隆夫副市長から千年希望の丘交流センターにて復興の状況等について説明を受けました。

石巻市では「マルホンまきあーとテラス」にて開催された石巻市復興事業（基盤整備）完結式典に出席し、祝辞を述べました。また、石巻市震災遺構門脇小学校を視察しました。

松島町では東日本大震災慰霊記念碑にて献花・黙とうの後、熊谷清一副町長から復興の状況等について説明を受けました。

山元町では山元町東日本大震災慰霊碑にて献花・黙とうの後、橋元伸一町長から復興の状況等について説明を受けました。

亘理町では鳥の海公園 鎮魂の碑にて献花・黙とうの後、避難丘で山田周伸町長から復興の状況等について説明を受けました。

塩竈市では東日本大震災モニュメントにて献花・黙とうの後、千葉幸太郎副市長から復興状況等について説明を受けました。また、利府町役場に熊谷大町長を表敬訪問し、復興の状況等について説明を受けました。

多賀城市では多賀城市東日本大震災モニュメントにて献花・黙とうの後、深谷晃祐市長から復興の状況等について説明を受けました。



仙台市役所にて



千年希望の丘相野釜公園（岩沼市）にて



マルホンまきあーとテラス（石巻市）にて



東日本大震災慰霊記念碑（松島町）にて



東日本大震災慰霊記念碑（山元町）にて



鳥の海公園 鎮魂の碑（亘理町）にて



東日本大震災モニュメント（塩竈市）にて



利府町役場にて



東日本大震災モニュメント（多賀城市）にて



### 「るるぶ特別編集 東日本大震災伝承施設ガイド」

震災から12年が経過する中で、その記憶と教訓を次の世代へ伝え、今後の防災・減災対策に活かすことがますます重要になっています。震災後被災地においては、数多くの震災伝承施設が設けられ、それぞれの地域の被害状況や復旧・復興の取組、防災・減災の知識などを発信してきました。今般こうした被災地の震災伝承施設を紹介し東日本大震災の教訓から災害への学びと備えを知っていただくよう、復興庁において製作いたしました。

本ガイドを活用いただきながら、震災伝承施設を訪れていただき、防災・減災意識を向上させていただけると幸いです。

今号から宮城の伝承施設をQ&Aを交えて紹介してまいります。詳しくは、復興庁・伝承施設ガイド又はQRコード（るるぶ特別編集）『東日本大震災伝承施設ガイド』よりご覧いただけますので、是非アクセスしてみてください。



復興庁 伝承施設ガイド

## せんだい3.11メモリアル交流館



津波の甚大な被害を受けた仙台市東部沿岸地域への玄関口でもあるこの施設は、震災の記録を一方向から伝えるだけでなく、来館者に記憶や思い出を残してもらうなど、交流できる空間として開館。現在2階展示室では令和6年2月12日まで <企画展>「こころへんのごはん〜お茶飲み話で聞いた沿岸部のレシピ」〜と題して、昭和30年代から40年代、仙台の沿岸部で食卓に並んでいた「いつものごはん」。思い出と試せるレシピをつけてご紹介しております。

Q. 2階展示室の床、テーブルや長椅子には、ある物が再利用されています。一体何が使われているのでしょうか。

A. 津波被害で閉校となった、東六郷小学校の体育館のステージの部材などが使われています。

### 【編集後記】

◇今号では、土屋復興大臣と高木復興副大臣が就任した9月以降の宮城県庁を初めとした各市町への表敬訪問・視察、宮城県市長会要望などの記事を掲載いたしました。現地で「生」の声を聴かせていただくことで、更なる復興へ向け、引き続き取り組んでまいります。◇今号からは「るるぶ特別編集 東日本大震災伝承施設ガイド」より、宮城県の伝承施設をQ&Aを交えて紹介してまいりますので、楽しみにお待ちください。(ホームページでは全体版がご覧いただけます) (仙台支所次長 齊藤)